

しよわ



今月の表紙 2024.12.10



蛇王権現

令和7年の干支は『巳』ということで、蛇王権現（松山）が思い浮かびます。お恥ずかしながら、存在を知ったのは近年の事で、そう言われて見てみると、交通の難所である綱木を、そっと見守っているかのようです。今でこそスノーシェッドがいくつもでき、道路も舗装されて通りやすくなりましたが、昔はどれだけ大変だったのだろうかと、先人達の暮らしに思いを馳せます。

写真の石祠は馬追山の入口付近にあるものですが、綱木の石祠もこのような細工（蕪懸魚）があったと考えられ、石工のセンスが光ります。

年頭のご挨拶



昭和村長 舟木 幸一

明けましておめでとうございます。村民の皆様には明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は本村にとって大きな飛躍が多くあった1年でありました。国民の農林水産業と食に関する認識を深め、農林水産業者の技術改善及び経営発展意欲の高揚を図るため実施

されている農林水産祭におきまして、「JA会津よつば昭和かすみ草部会」が最高賞の天皇杯を受賞いたしました。これは、当村の産地一体となった新規就農者の確保により「百年

産地」を目指す取組が評価されたものであり、村としても誉であります。このような追い風もあり、昨年のカスミソウの出荷額は、過去最高の7億1千万円を突破いたしました。村としても、産業振興のため、引き続き、生産者の皆さんやJA会津よつば等を支援してまいります。

また、本村の「からむし織体験生制度」が30年にわたる地域の特性を活かした活性化の取組であると評価され、7月20日の「からむし織の里フェア」において、福島民友新聞社の「第34回みんゆう県民大賞

ふるさと創生賞」の表彰式が執り行われました。これは、畑を守り続け、そして日々の暮らしの中で糸を績み、機を織り続けられてこられた関係者の方々の長年にわたる御努力と村外から来られる方々を受け入れていただいた村民の皆様の御協力の賜物であり、改めて感謝を申し上げます。村といたしましては、からむしの新たな魅力を創出しながら、様々な機会を捉えてからむし織をPRしてまいります。

長年の念願でありました博士トンネルが昨年9月に開通して1年が経過し、村外から多くの方々にお越しいただいております。昨年度は、秋の観光シーズンに合わせて、喰丸小を拠点とした体験型ワークショップ「昭和村ガクチカプロジェクト」を開催し、音楽や歴史をテーマとしたイベントを実施し

ました。また、道の駅では、道の駅開設10周年を記念する「10周年感謝祭」や村の特産品であるかすみ草の販売やフラワーボール制作体験を行う「かすみ草ウィーク」などのイベントを開催しました。引き続き、喰丸小や道の駅を拠点としたイベントを観光協会や奥会津昭和村振興公社など関係団体と連携を図りながら展開し、村内の活性化につなげてまいりたいと考えております。

このほか、令和5年度から整備を進めてきた公共インフラWi・Fiが、昨年より居住地域で運用をスタートいたしました。この公共インフラWi・Fiは、村民のみならずの生活をより豊かにするための取組です。スマホ教室の開催など様々な機会を捉えて、皆さんに利便性を実感していただく取組を積極的に進めてまいります。

本年も、頻発する災害への対応や水稻をはじめとする農業、高齢化が進む村の福祉、小中一貫教育の推進等について着実に取組を進めるとともに、皆さんが「てえらな心で、こちよく暮らす」村を目指し、行政・議会・村民が一体となり、取り組んでまいります。考えておりますので、皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、新しい年が村民の皆様にとって佳き一年となりますことを御祈念申し上げます。新春の御挨拶といたします。

昭和村議会議長 渡部 節雄

新年明けましておめでとうございます。

議会を代表いたしましたし、新年を寿ぎ、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様におかれましては、新しき年を迎え、今年の目標設定を設けたり、モチベーションを高めたり、意気込まれる方も多いかと思われます。ポジティブに前途を見据えられる方は幸福な人の部類に入るのではないかと、われ、うらやましい限りです。

昨年は、様々な出来事がありました。年明け早々の能登半島大地震、その天災を忘れぬうちに、9月に能登半島は再び、豪雨被害に

見舞われ、理不尽な自然災害の仕打ちに、被災地の人でなくとも暗澹たる思いを抱かされました。

私は、両沼7町村議会議長会の行政調査で、8月に輪島市を訪れ、復旧が遅々として進んでいない状況を目の当たりにしているため、その衝撃は大なるものがあり、防災認識を、今更ではありますが、強く強く感ずることとなりました。

次に、目を世界に向けますと、ウクライナ戦争は泥沼化し、パレスチナ紛争は混乱を極め、同じ中東地域のシリアでは独裁政府が倒され予断を許さない状況が続いております。人間社会においては争乱はつ

きものと考えざるを得ません。

私は、年頭を機に、世の無常ということを強く考えさせられました。世界情勢の変化が、我々の日常生活に否応なしに影響してくる事実は、直接的な物価の高騰のみならず、様々な経済生活、社会生活に変化を及ぼしていることで理解できると思われます。自然環境のみならず、人間社会においての変動は、齢を重ねてきた私達高齢者にとつて、急激ではなく、ゆつたりとしたものであつてほしいと願うばかりです。

我が昭和村においても、世の移ろいによって、問題点が次々と浮き彫りに

なつてきております。制度疲労という現象も無視できません。複雑な環境の変化に対応することの出来る柔軟性を求められるわけですが、複合的な課題解決は容易ではありません。

しかもなおざりにできない案件が多く、議会として、村民の意見を村政に反映させるという基本的責務ばかりではなく、村全体の合意形成を図る仕事を果たさねばという思いがあります。

令和7年もまた、様々な出来事が起こるのは間違いない、無常感に浸ることが多いと思われます。

村民の皆様にあつては、世の変動に動ぜずの気概を持たれまして、それ

ぞれが、変化を乗り越え、ご健勝でご活躍されますことをお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。



瑞宝単光章受賞

12月18日村長室にて、菅家敏章さん（小野川）に本田会津地方振興局長より、55年余の永きにわたる消防団員としての功績に対して叙勲（瑞宝単光章）が伝達されました。この度の受賞誠にめでとつございます。



書作品を

寄贈いただきました

11月に開催しました昭和村民文化祭並びに会津西部巡回美術展に書作品を出展された小林盛雄さん（野尻）より村の文化振興のため書作品1点の寄贈をいただきました。寄贈いただきました作品は、公民館1階ロビーに展示しておりますので、ぜひ来館された際にご覧ください。



正倉院からむし布

令和6年秋に奈良国立博物館の「第76回正倉院展」が開催され、昭和村のからむし布が展示されました。

今回の正倉院展では、奈良時代に日本を治めた聖武天皇のお使いになったという至宝「紫地鳳形錦御軾（むらさきじおおりがたにしきののおんしよく）」（錦張りの肘おき）が展示され、この宝物と再現模造品が同時公開されました。

この模造品は宮内庁正倉院事務所によって、X線透過写真やX線CT画像のデジタルデータを基に芯材の素材や構造が検討され、令和6年3月に完成したものです。この製作にあたり、芯材を包む布を探していた正倉院事務所から相談があったのが令和4年。奥会津昭和村振興公社では、手積み糸の太さなどについて

て何度も意見を交わしこの布の製作に取り組んできました。

織り、雪ざらしで試行錯誤をくりかえしたからむし布は、同じように多くの苦勞を重ねられた各地の製作者たちの想いと共に、今回たくさんの方々の目に触れることになりました。

今回の「正倉院展」目録は、からむし工芸博物館で閲覧できます。



宝物と再現品の展示



麻布・マコモなどの展示



材料・技法などの紹介

※写真は、奈良国立博物館「第76回正倉院展」会場より



鈴木克彦さん

新しく人権擁護委員を委嘱

鈴木克彦さん（松山）が1月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったりしています。

任期は3年で、小中学校との連携や各種イベントなどでの啓発活動、また人権問題の相談業務などを行っていただきます。

昭和学講座特別講演会

11月30日に昭和村公民館で昭和学講座特別講演会を開催しました。

当日は、矢ノ原湿原の保全管理にご協力いただいている福島大学共生システム理工学類黒沢高秀教授に「山菜・毒草の秘密は植物の防衛の仕組み」をテーマに講演いただきました。

普段目にする山菜や植物には、なぜ毒が含まれているのか、クイズを交えながら講演いただき、講演終了後は、参加者から多数の質問が挙がるなど、賑やかな講演会となりました。



クリスマスマーケット

11月30日喰丸小にて、村民の方主催による「よいやれ屋」クリスマスマーケットが行われました。

当日は約150名のお客様が訪れ、クリスマスにちなんだ飾り付けや出店者手作りの商品などを手に取り楽しんでおられました。



自由参観ウィーク

11月11日～15日までの間、昭和小・中学校にて、「第2回自由参観ウィーク」を実施しました。「自由参観ウィーク」は、小・中学校の授業の様子を、広く地域の皆様にご覧いただくことで、学校教育活動への理解や学校と地域との連携を推進することを目的として、今年度より実施しているものです。

この事業に併せて小学校では「フラガールきずなスクール2024」が開かれたり、中学校では社会科公民の授業で村議会議員から地方自治についてのお話を聞いたり、工夫を凝らした教育活動を見ていただくことができたと思います。

小・中学校合わせて、のべ70名以上の保護者及び地域の皆様に来校していただきました。ありがとうございました。



公民館日誌

○千歳学級「健康教室」 11月21日

公民館で千歳学級「健康教室」として、宮下病院の「心ある医療」出前講座を開催しました。講師に押部看護師さんをお迎えして『睡眠』をテーマとして、睡眠の大切な役割、年齢別の適した睡眠時間とメカニズム、不眠の原因などをお話いただきました。自分の不眠がどのタイプに属するのかわかり、良い睡眠に繋がる1日の過ごし方や入眠しやすい呼吸法などのアドバイスで、睡眠の質をあげるコツを学びました。



また、良い睡眠には欠かせない運動のお勧めとして、横山理学療法士さんに棒体操を教えていただきました。無理のない動きで安全に手軽にできる体操で、普段あまり使わない背中・胸・肩の筋肉がスッパリほぐれました。

○少年教室「クリスマス会」 12月7日

すみれ荘で少年教室「クリスマス会」を開催しました。講師におやつやアイリスの栗城沙羅さんをお迎えして、クリスマスのクッキーづくりを教えていただきました。

米粉に天然色素の色粉と米油や豆乳などの材料を混ぜた生地を、クリスマスモチーフの型で抜き、各々自分の好きな色・形のクッキーを作りました。さらさらした米粉で作る生地は型から外す時に崩れやすく大変でしたが、根気よく丁寧にきれいな形に型抜きできました。おいしそうな甘い香りを漂わせながら、クリスマスにぴったりの可愛いクッキーが焼き上がりました。



○生涯学習講座「蕎麦打ち教室」 12月9日

公民館で生涯学習講座「蕎麦打ち教室」を開催しました。講師に蕎麦カフェ SCHOLA の酒井由美さんをお迎えして、練りから茹でまでの蕎麦打ちの一連の工程を教えていただきました。

つなぎを使わない十割蕎麦は、乾燥しやすく手早く作業しないと生地が固くなるが大変でしたが、講師の指導のもと滑らかなきれいな蕎麦が完成しました。教室の最後には、講師が見本で打った、打ち立て茹で立ての蕎麦を味わい新蕎麦の風味を堪能しました。



公民館日誌

○千歳学級「スマホ教室」 12月12日

公民館で千歳学級「スマホ教室」を開催しました。講師に株式会社エヌ・エス・シーの五十嵐かおるさんと三星友紀さんをお迎えして、スマートフォンの安全な使い方を中心にお話いただきました。

村内にWi-Fiの環境が整い利用する機会が増えた、インターネットの活用法やLINEの使い方、スマートフォンを狙った悪質な詐欺への対処法など、ためになる情報を知ることができました。また、相談コーナーでは、個々の疑問に対応いただきスッキリ解決できました。



○生涯学習講座「刃物研ぎ教室」 12月15日

公民館で生涯学習講座「刃物研ぎ教室」を開催しました。講師に大工八〇の押部僚太さんをお迎えして、刃物研ぎの道具選びから仕上げまでの工程を教えていただきました。

刃物の状態を観察し研ぎ方をイメージしてから、サビなどの汚れを耐水ペーパーで落とし、刃物の角度と力加減に気を付けながら荒砥、中砥、仕上げ砥と順番に研ぎ進め、切れ味抜群の輝く刃物に磨き上げました。自宅でのお手入れに役立つ研ぎ石の整え方や長期保管の際の仕上げ方なども教えていただき、お気に入りの刃物にますます愛着が深まりました。



すみれ荘日誌

○クリスマス会 12月15日

昭和村保育所でクリスマス会が行われました。

クリスマスのお話を聞いたり、クリスマスソングに合わせ、タンブリンや鈴で楽器の演奏会をしたりしました。

どこからか鈴の音とサンタクロースの声が聞こえると、突然ステージ上に大きな袋があらわれ、中にはプレゼントを隠した場所が書かれたカードが入っていました。それを手掛かりにプレゼント探しを行い、無事に見つけることができた子どもたちは大喜びでした。



すみれ荘日誌

○大芦げんきクラブ 11月20日

大芦区長事務所にて大芦地区の高齢者を対象とした大芦げんきクラブが開催されました。

「簡単なストレッチ」で体をほぐしたあと、今回は「苔テラリウムづくり」を行いました。

小さなガラスの器に鮮やかな緑色をした苔を敷き詰め、飾りに木の模型や、犬や猫の人形を入れて可愛く仕上げました。一人ひとり個性がでていて、オリジナルな作品ができ参加者は大満足でした。

大芦げんきクラブは大芦地区の高齢者の方ならだれでも参加者できます。毎月活動していますのでお時間が合えば、ぜひ参加してみてください。



○下中津川いってみっ会 12月5日

すみれ荘にて下中津川地区の高齢者を対象とした「いってみっ会」が開催され、地元の草花を使ってフラワーアレンジメントを行いました。

地元産のかすみ草やほおずき、紫式部など色とりどりの草花を「こうしたらきれいかな?」「バランス悪くないかな?」など試行錯誤しながらカゴに飾っていき、コンパクトにかわいらしくまとめたり、大きく華やかに仕上げたりと、その人を表すような個性あふれる作品ができあがりました。楽しく集中して制作していたこともあり、あっという間に時間が過ぎていきました。またやりたいとの声もあり、参加者全員大満足でした。



○すこやか教室（昭和小学校） 11月15日

株式会社イースミールの管理栄養士である仲野谷さんに「元気な体を作る食べ方」成長に合った食事について、お話いただきました。

食べ物が消化されて栄養になるまでの流れや、年齢や性別ごとの必要なエネルギー量（カロリー）など、少し難しい内容もありましたが、食べ物のカロリーを多い順に並べるクイズや、バナナ1本を消費するのに必要な運動量はジョギング何分か等、途中でクイズなどを取り入れながら、楽しくわかりやすく体を元気にする食事について考えることができました。また、食べるときの姿勢や良く噛んで食べることなど、野菜から食べ始めると良い等、食べ物を栄養にするには、食事の内容だけではなく、食事をする環境や食べ方やも大切というお話もあり、子どもたちからは、「おかしを食べ過ぎないように気をつけたい」「良く噛んで食べるようにしたい」などと感想があり、バランス良く食べることが元気な体を作ることを学ぶことができました。



無火災表彰

12月20日に本村は、無火災1年を達成し、同日、消防長から贈られた表彰状を持参し、広域消防昭和出張所所長等が村長に報告しました。

村民の皆さまにおかれましては、引き続き、火の取扱いに注意し、記録更新へのご協力をお願いいたします。

地域づくり懇談会

12月15日～23日にかけて、地域づくり懇談会が各地区で開催されました。地域で困っている事や要望などのほか、多くの提案や改善案が寄せられました。

なお、各地区から出された内容については、広報誌でも改めてお知らせいたします。



専用フォーム



「皆さんの声聞かせてください」事業へのご提案・ご意見を頂戴しましたので、その内容と、村からの回答をお知らせします。

ご提案・ご提言は、役場に備え付けの提案用紙または村ホームページから行えますので、お気軽にご意見をお寄せ下さい。



01 LINEの活用

60代・男性 村内

【ご提案内容】

停電中は防災無線が家の中で聞こえません。LINEで原因や復旧メドを配信出来ませんか？

せっかくの防災無線が停電で聞こえないなら意味がありません。

外のスピーカーが遠くにあって聞こえにくい場所もあるはずです。

宜しくお願い致します。

【回答】

この度は、ご提案ありがとうございます。

まずはじめに、宅内の防災無線（FM告知機）は停電時には、電池にて駆動できる仕様となっております。

もし、右上の電源ランプが点滅している場合には、電池が少ないもしくは切れている状態となりますので、ご確認くださいませようお願いします。（通常は、AC電源で駆動しており

ます。）

電池を交換しても、同様の状況が続く場合には、機器の故障の可能性もございますので、ご連絡をお願いいたします。

さて、LINEでの情報配信につきましては、現在は手動で行なっている状況です。村にお問い合わせ頂く住民の方もおりますが、村も電力会社より情報を得て対応している状況ですので、その点ご理解をお願いいたします。

なお、今年に入り停電が頻発している情報を踏まえ、情報を知りたてから自動配信するシステムを試験中ですので、これまでよりも迅速な情報の配信が行えるかと思っております。

ですので、運用開始後改めてご案内させていただきます。また、東北電力が提供する「停電情報アプリ（無料）」もございますので、そちらの導入についてもご検討をお願いいたします。

令和6年 12月議会
行政報告

村では、定例議会毎に、各分野の事務事業などの進捗状況などを行政報告として議会へ報告しています。今回は12月議会における報告のあらましをお知らせします。

●物価高騰などに伴う住民生活への影響緩和

低所得者支援及び定額減税を補足する調整給付の物価高騰対応重点支援給付金は、10月から対象世帯や対象者に支給を開始し、11月初旬に支給が完了しました。

●広域連携の取組

日本で最も美しい村連合の活動として、10月5日に国道400号の清掃活動を行いました。小さなお子さんも含め多くの村民のみなさんに参加していただき、少しずつではありますが、日本で最も美しい村連合の活動が着実に浸

透してきていると実感しています。

また、本年は、本村が日本でも最も美しい村連合に加盟してから5年となるため、10月に資格審査が実施され、審査の結果、日本で最も美しい村連合の資格を引き続き有することになりました。

●持続可能な協創のむら

昭和村集落支援員は、支援内容等に関する打合せを定期的に行いながら、目的の達成に向けた活動に精力的に取り組んでいきます。

●心地よく暮らせるむら

会津若松方面の交通手段の確保に向けた路線調査事業は、衆議院が解散したことにより選挙事務に万全を期す必要があったため、止む無く延期しました。現在、受託者と再調整及び打合せを行っており、年内の一度目の実施に向けて準備を進めていきます。

●先端的過疎

全村民を対象とした2回目のスマホ教室を、先月下旬から各集落の区長事務所を会場に開催しました。詳しく知りたい、相談したい方などを対象とした個別相談会も併せて開催し、より親しみを持っていただけ工夫を重ねています。

●消防・防災

11月中旬には、先進的な技術を有する企業の協力を得て、高性能ドローンによる大地震や土砂災害、山岳遭難発生時における行方不明者の捜索及び人命救助を想定した実証事業を実施しました。

●選択と集中の行政運営

役場庁舎庁内検討会議で検討していた庁舎等の建設候補地については、県が公表した野尻川洪水浸水想定区域内に含まれるため、建設費として起債を借り受けることが困難となり、資金計画を含む整備計画の見直しを行っています。

また、昭和村子どもの教育検討委員会から報告を受けました、小中一貫校や保育所を含む教育関連施設の整備計画については、財政面等の観点から庁舎建設と総合的に検討する必要があるものと考えています。

役場庁舎建設と教育関連施設の総合的な整備計画について、村としての最終的な方向性を早急に決定し、本年度内に議会議員の皆様などにご説明したいと考えています。

●農業

稲作については、全国の本年産の主食用米面積は、前年実績から1万7千ヘクタール増加し、125万9千ヘクタールとなりました。予想収穫量は679万2千トンとなり、前年に比べ、約18万トン増加との見通しが示されています。

東北農政局が発表した、令和6年産米の10月25日現在の作況指数は、会津地方は百二の「やや良」となっています。JA会津

よつば昭和地区の状況は、買入数量が約四百三十トン、一等米比率については、99.88%で、JA会津よつばの概算金は「JA米のコシヒカリ」が2万2百円、前年比で8千1百円の増、「JA米のひとつめぼれ」が1万9千5百円、前年比で8千6百円の増、「JA米の里山のつぶ」が1万8千5百円、前年比で8千4百円の増となり、概算の買入金額は約1億3千9百万円、前年比で約4千6百万円の増額となっています。

転換作物であるソバについて、昨年同様、高温による影響が懸念されましたが、播種後の天候にも恵まれ、生育は良く、高温時期が生育に与える時期が回避されたこともあり、昨年より影響が少なかったと聞いております。

主食用米の適正生産量を確保するために必要な転換作物は、本村のような中山間地域や積雪地帯においては、ソバは欠かせない作物の一つであると考えていますので、村とし

しても、今後においてもソバの作付を継続していただけよう、国や県からの情報収集に努めながら、新たな転換作物についても検討していきます。

主要品目の宿根カスミソウは、9月以降、雨が多く、湿度が高い状況が続く、ハウス内や作業場の除湿と、温度管理が問題になっていました。が、11月27日までの出荷本数は、約582万本と前年同時期比で約109.7%となり、販売額は、7億1千2百万、前年同時期対比で約110%となりました。これは、生産者のご努力はもとより、県会津坂下農業普及所金山普及所の指導員による献身的な技術指導、JA担当職員による市場の動向等を的確に把握した売り先の確保、さらに、雪室を使ったパーフェクトコールドチェーンによる品質維持の効果が伴い、信頼のあるブランド化の定着が、生み出した結果であると考え

ています。
また、第63回農林水産祭

の園芸部門において、最高賞である天皇杯の受賞が決まり、11月23日には、JA会津よつば昭和かすみ草部会より報告を受けました。

●森林整備事業

村内におけるナラ枯れの被害状況について、県会津農林事務所と協力をいただき、現地踏査を行ったところ、昨年より標高の高い地域に被害が拡大しており、村内全域での被害が確認されています。主に、私有林に被害が広がっており、管理に対する周知と注意喚起を行っていきます。

また、被害木の伐採については、4月の松山白沢地内に続き、10月には村道柳沢線の伐採を行いました。今後も、各集落の皆さんに話を伺いながら、危険木の把握と事業の推進を図っていきます。

また、本年度の福島県森林環境交付金を活用した森林整備について、小野川地区、水芭蕉としらかばの杜において基本調査を

実施し、昨年度の調査箇所と合わせて、年度内の完了に向け工事を進めていきます。

昭和の森キャンプ場の基本調査箇所についても、年度内に終える予定であり、森林としての適切な環境整備に活かしていきます。

●商工関係

「かすみ草の村地域振興券発行事業」は、7月1日から使用が開始されおり、11月15日現在の利用状況が約71.89%、利用金額は約811万円となっています。地域振興券は、使用可能な期間を定めていることから、期限内に使用していたかどうか、コバシリやホームページ等で村民の皆様へ周知を図っていきます。

●観光交流事業

秋の観光シーズンには、喰丸小で体験型ワークショップ「昭和村ガクチカプロジェクト」を開催し、喰丸小のオオイチョウも

見頃を迎えた連休の来場者は村内外から2千百人を超える方々に来場いただきました。また、昭和村観光協会主催の日帰りバスツアーも同日に開催され、紅葉シーズンの自然や新そばを堪能していただきました。

埼玉県草加市との姉妹都市交流については、10月26・27日の両日に、秋の昭和村体験ツアーが行われ、そば打ち体験や、矢ノ原湿原の散策のほか、博士峠さわやかウオークにも参加していただき、参加された方々からは、ツアー内容などにも高い評価をいただきました。

10・11月には、村内の事業者のご協力による、「ふささら祭り」への出店や「昭和村いいがなんめえがな市」を開催し、農業委員の方にも参加をいただきながら、本村の農産物や特産品などの販売を通じて、多くの草加市民との交流を行いました。

●工事関係（村道の整備）

村道佐倉線の舗装補修

工事及び下中津川村宮住宅内道路横断溝修繕工事については、契約工期内の完成に向け工事を進めています。また、両原字持石地内、日影橋橋梁補修工事についても、契約工期内の完成に向け工事を進めています。

国道401号大芦工区については、10月8日に会津若松建設事務所と現地踏査を行い、事業の進捗状況と今後の予定について、説明を受けました。また、11月19日には、国道401号改良整備促進期成同盟会として、県知事などへの要望活動を行いました。

国道400号舟鼻峠工区については、昭和村側の狭隘区間の改良工事等が着実に進められており、年間を通じた安全な通行の確保が期待される場所です。

また、11月7日には私が会長を務めます、国道400号舟鼻峠改良促進期成同盟会において、県知事などへの要望活動を行いました。

●除雪関係

冬期間の村道の除雪については、11月5日に除雪会議を開催し、今年度の除雪計画を決定しました。また、今年度、除雪ドーザー11トン級を更新しました。

●からむし事業

新年度のからむし体験生32期生は、6名の応募がありました。

今年度のからむし織体験生については、糸づくりの作業を順調にこなしており、12月中旬からは織りの作業、作品製作に入る予定となっています。

また、10月には、福島県立博物館において、からむし織体験生修了者作品展を開催し、体験生修了者の作品展示と糸づくりの実演を行ったほか、会津若松市の鶴ヶ城体育館で開催された会津ブランドものづくりフェア・イン・まちなかにおいて、からむしのしおりづくり体験や糸づくりの実演、からむし織製品の販売等を行いました。

●保健事業

10月に、村内各集落で健康相談と併せて健診結果説明会を開催したほか、12月から「元気で長生き教室」を開催し、日々の健康管理や体力測定と認知症の予防に理解を深めていただきました。

また、子どもの健康課題などについて保健福祉課、保育所、小中学校、教育委員会の関係機関で連携した取組を実施するため、保健連絡会を開催したほか、11月13日には保育所において、思春期から生命の尊厳についてを学び、母性、父性を育むことを目指し、中学三年生が赤ちゃんと触れ合う体験を実施しました。

このほか、小学校において、児童期から健康について自分で知り、考える機会となるよう、児童と保護者を対象とした「元気な体を作る食べ方」をテーマに、すこやか教室を開催しました。

●感染症対策

65歳以上の高齢者と60歳以上64歳以下の基礎疾患を有する方を対象とした、新型コロナウイルス接種については、国保診療所において10月1日から第一期接種を開始しました。第二期接種は1月6日から実施できるよう準備を進めています。

また、季節性インフルエンザについては、11月11日から年末にかけて65歳以上の高齢者と60歳以上64歳以下の基礎疾患を有する方を対象に国保診療所で個別接種を進めています。

●県立宮下病院

老朽化などを受けて建て替えが計画されていますが、令和9年度に有床診療所として開所を目指す「宮下病院建替え基本設計」が決定・公表されました。

引き続き、村内の訪問診療・訪問看護等、在宅医療の拠点機能を担う県立宮下病院、奥会津在宅医療センターと協働して、地域文化や住民同士の共助の精神、村民の想いなどを大切

にした本村ならではの地域包括ケアシステムを構築していきます。

●子育て支援

こども・子育て支援分野の総合計画である第2期昭和村子ども・子育て支援事業計画が令和6年度で終了となることから、令和7年度から令和11年度までを計画期間とした第3期画策定に向け準備を進めています。

また、安心安全な妊娠・出産と適切な医療や保健サービスが受けられる環境の整備を図るため、遠方の分娩取扱施設で出産する妊婦やその同行者に対して、分娩取扱施設までの交通費や分娩取扱施設周辺の宿泊施設への宿泊費用を助成する予算を今定例会に提出しました。

●世代間交流

10月15日に昭和村子供会主催、昭和村老人クラブ連合会等との共催により、ニュースポーツ大会を開催しました。小学生11

名、高齢者23名に参加いただき、世代間交流により親睦を深めることができました。

●保育所事業

保護者間での交流、親子の絆を深めつつ、普段見ることのできない保育所で子どもの姿を見ていただくため、9月には会津坂下町、会津中央乳業への親子遠足、10月には保育参観を実施しました。

また、JA会津よつばの昭和かすみ草部会から提供いただいたカスミソウを使い、児童が作った花束を両親や祖父母への感謝としてプレゼントするファミリーデーを初めて実施しました。

●高齢者福祉

9月14日には、長年、地域の発展に尽くしてこられた方々の健康と長寿をお祝いする「昭和村敬老会」を開催しました。「わらべの会」によるコーラス、講師・神田織音さんによる古典落語の名作『柳田格

格之進』などのステージアトラクションで会場を盛り上げていただきました。

今年度は、「金婚式」を迎えられたご夫婦が2組いらっしやったため、福島県老人クラブ連合会から、お祝い状と記念品が贈呈されました。また、今年度満百歳を迎えられた方3名に賀寿のお祝品と記念品をお贈りしました。

また、村全体としての「つながり」や「支えあい」が希薄化しているため、生活支援コーディネーターが各集落を巡回して地域サロン「村のカフェメケメケ」を開催しています。今年度は「互助・共助」が必要とされる「防災」をテーマとした話合いの場を設けています。

村民の自発・自主的な活動を支援する「アクティブシニア事業」については、「下中津川」について、「大芦げんきクラブ」の2団体に本年度は特に活発に活動していただきました。来年度は、参加希望の団体が増える見込みですので、住民の生きがいや

仲間づくり・社会参加の場の創出、孤立の防止、など多岐に渡る住民による自発的な福祉活動を、引き続き支援していきます。

●ごみ対策事業

10月19日に、小型家電、食器類及び衣類を対象に資源収集を行い、約740キログラムを回収したほか、更なるゴミの減量化を図るため、9月3日より常時、すみれ荘内での衣類回収を開始しています。

●教育行政

「昭和村いじめ問題対策連絡協議会」を9月26日に開催し、いじめの防止に係る機関及び団体との連絡調整と対策について、協議を行いました。

また、村長と教育委員会による「総合教育会議」を10月に開催し、教育を行うための諸条件の整備と、地域の実情に応じた教育、文化の振興を図るための協議しました。

小中を一貫した教育の推進については、11月に

「小中学校文化祭」を合同で開催したほか、11月11日から15日まで、2回目の「自由参観ウィーク」を開催し、日頃の学習成果と、小中一貫した教育の成果を多くの村民に参観いただきました。

また、義務教育9年間を見据えた児童、生徒の学力向上に関する2回目の「小中学校合同授業研究会」を開催したほか、「昭和村学習スタンダード」の協議や、新年度の小中一貫教育推進事業の調整を行っています。

昭和小学校では、これまでの修学旅行から5年生と6年生が一緒に活動する「学習旅行」に見直しを行い、今年度は10月3日から4日にかけて仙台市内を中心に、本村では経験できない様々な体験を行いました。

また、学校間交流により、教育活動の広がりや幅広い人間関係構築につながる機会とするため、金山町と三島町の小学校と合同で「交流学習会」や「陸上記録会」を実施しました。

昭和小学校は、今年度の福島県交通安全優良学校に選ばれ、このほど表彰が行われました。長年にわたる学校、家庭、地域の協力による児童の安全な登下校や、家庭での交通安全への高い意識などが総合的に認められたものです。

昭和中学校では、郷土の理解を深める教育活動として「花育」と「芋麻育」に取り組んでおり、宿根カスミソウの収穫や染色及びフラワーアレンジメントの体験と、からむしの地機織体験を行っています。

また、9月5日には、下郷町で「全会津中体連駅伝大会」が開催され、昭和中学校女子は今年度から創設されたオープン部の部に出場し、2位の好成績を収めました。

9月10日には「NHK全国学校音楽コンクール」の福島県大会に、金山中学校と合同で出場し、銀賞を受賞いたしました。小規模校同士ではありますが、交流を深め練習を積み重ねることによって、県大会の舞台上に立つことができ、素

晴らしい経験となりました。

社会教育については、10月18日には福島県立図書館の移動図書館来館に合わせて、子どもの読書教育の一環として、保育所児童と小学校低学年児童を対象に「おはなし会」を開催いたしました。

また、11月を「文化芸術月間」として位置づけ、昭和村公民館を会場に、週末毎に様々な事業を開催し、多くの来場者で賑わいを見せたところであります。

社会体育については、村民の親睦と体力増進を図ることを目的に、「協会長杯家庭バレーボール大会」には、若者を中心に多くの村民が出場し、白熱したプレーが繰り広げられました。また、11月には「第36回ふくしま駅伝」が開催され、本村からは希望ふくしまチームの一員として、昭和小学校の岩谷教諭が出場しました。

文化財については、湿原の保存管理計画の見直しは、これまでに検討委員会を5回開催し、新年度まで

には素案を作成する計画です。
このほか、昭和小学校外壁補修工事は間もなく完成する予定となっており、昭和村教員宿舍新築工事も順調に進捗しており、引き続き工期内完成を目指していきます。

ーご寄附いただいた皆様ありがとうございますー

令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日まで

◎ふるさと納税

【寄附件数】 63件 【寄附金額】 112万円

ご寄付いただいた皆様	東京都	大門 聖 様	2万5千円
	東京都	遠藤正樹 様	1万円
	東京都	小林 慎 様	2万円
	福島県	伊藤貴之 様	3万5千円
	熊本県	菅家照典 様	2万5千円
	福岡県	島田佑輔 様	3万5千円
	愛知県	小泉寿子 様	2万5千円
	東京都	山本修平 様	1万5千円
	福岡県	片山洋二 様	1万円
	宮城県	加藤鉄平 様	1万5千円
	京都府	柴 加菜 様	1万円
	東京都	岡崎綾乃 様	1万5千円



※寄附申込書において氏名公表可とされた方のみ掲載しております。

ご寄附は地域の活性化事業や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

訓練生募集

会津訓練センターでは、再就職を目指す求職者の方々を対象に、ものづくり分野の職業訓練（離職者訓練）を実施しています。

- ①募集定員 機械 CAD・NC コース 9名
電気設備技術コース 12名
- ②訓練期間 令和7年3月4日から令和7年8月28日まで（6ヶ月間）
- ③対象者 ハローワークに求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方
- ④受講料 無料
- ⑤募集期間 令和7年1月14日（火）～2月12日（水）
- ⑥選考日 令和7年2月14日（金）
- ⑦申し込み 最寄りのハローワーク窓口へご相談ください。

【お問い合わせ】ポリテクセンター会津 訓練課 ☎ 0242-26-0520

県立宮下病院からのお知らせ

県立宮下病院 院長 横山秀二

新年あけましておめでとうございます。令和7年を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。当院は、昨年より在宅医療部門を会津医療センターから引き継ぎ、皆様のご自宅でも安心して療養できるようサポート体制の充実を図りました。また、病院建替に向け、より快適で安全な医療環境を提供できる施設となるよう引き続き計画を進めていく所存です。今年も職員一同、地域に根ざした医療提供を心がけてまいりますので、どうぞ変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

「胃癌内視鏡検診」 県立宮下病院 外科（内視鏡担当） 佐竹 賢仰

日本人には胃癌が多いのですが、それはピロリ菌感染と密接に関係しています。ピロリ菌が感染すると胃の粘膜が萎縮し、これが胃癌発生の母地となります。内視鏡検診では胃癌の有無だけでなく胃の粘膜に萎縮があるか、ピロリ菌の感染があるか、感染は現在のものか過去のものかを調べます。ピロリ菌に感染している場合には、除菌することにより胃癌になる危険性を減らすことができます。胃癌の早期発見・予防のため内視鏡検査を受けましょう。

【お問い合わせ】宮下病院 ☎ 0241-52-2321

自動車の登録（変更・移転・まっ消）はお済みですか

自動車税は、毎年4月1日現在で、運輸支局に登録されている所有者（割賦販売購入の場合は使用者）に課税されます。例年、「持っていない車の納税通知書が届いた」、「納税通知書が届かない」等の問い合わせが数多く寄せられています。納税通知書が間違いなく届くように、次のような場合は3月末までに運輸支局で登録手続きを済ませましょう。

①住所が変わった ②自動車を人に譲った ③廃車した など。

【お問い合わせ】福島県会津地方振興局県税部 課税第二課 ☎ 0242-29-5261

乗るなら確認「自賠責」お忘れなく！

自賠責保険・共済は、万一の交通事故の際の基本的な対人賠償を目的とし、自動車損害賠償保障法に基づき、原動機付自転車を含む全ての自動車に加入が義務付けられており、自賠責保険・共済なしで運行することは法令違反ですのでご注意ください！

特に、車検制度のない250cc以下のバイク（原動機付自転車・軽二輪自動車）は、有効期限切れ、かけ忘れに注意してください。

【お問い合わせ】国土交通省東北運輸局福島運輸支局 ☎ 024-546-0345（音声ダイヤル）

不動産を相続したら かならず相続登記！

相続登記はお済みですか？令和6年4月1日から相続登記が義務化されました。詳しくは、お近くの総務局にお問い合わせいただくか、法務局ホームページの相続登記義務化特設ページでご確認できます。以下は、よく寄せられる質問です。

Q 1. 土地や建物の所有者（登記名義人）が亡くなった場合の登記手続きを教えてください。

A 1. 登記申請を行っていただき、所有者（登記名義人）を変更していただく必要があります。相続財産である不動産を誰が相続するのかなどについては、遺言がない場合には、相続人の皆さまが話し合っ決めて決めること（遺産分割協議）が一般的です。遺産分割の方法や内容をどうすべきか、どのように話し合いを進めるべきかといったことは、弁護士・司法書士等の専門家にご相談願います。遺産分割による相続登記の申請をするには、遺産分割協議書を作成していただくこととなり、登記申請書を作成し、除籍謄本、戸籍謄本、遺産分割協議書などを添付して提出していただく必要があります。登記申請書の作成方法や必要書類は、最寄りの法務局で登記手続案内（事前予約制）をご利用いただくか、登記手続に関する法律の専門家である司法書士にご相談ください。また、法務局ホームページに登記申請書の様式や『申請書類の作成における共通の注意事項等』が掲載されていますので、ご活用ください。

Q 2. 先日父が亡くなりました。実家の土地建物は父の名義です。不動産の相続登記はいつまでにすればよいですか？また、相続登記をしないでいくと、どのようなデメリットがありますか？

A 2. 長期間相続登記手続きをしないうちに相続人が更に亡くなってしまい相続人が増えた結果、遺産分割協議が困難になったりするケースがあります。なお、令和6年4月1日からは相続登記が義務化されており、正当な理由なく土地・建物の相続を知ってから3年以内に相続登記をしないと過料が科せられる場合もありますのでご注意ください。（令和6年4月1日より前に発生した相続についても同日以降3年以内に相続登記をする必要があります。）不動産の所有者が亡くなったら、早めに相続人間で遺産分割協議を行い、相続登記をしましょう。

Q 3. 亡くなった親が建てた建物が登記されていない場合はどのような手続きをすればよいですか？

A 3. まずは、福島県土地家屋調査士会のホームページにて、お近くの土地家屋調査士を探すなどしてから、その土地家屋調査士にご相談ください。登記申請書のほか、建物図面・各階平面図や、相続を証明する書類、遺言書や遺産分割協議書等、親が建物の所有者であったことの証明が必要になります。もっとも、図面の作成には、その前提として精度の高い測量が必要となる場合が多く、そのため、測量技術や建物に関する専門的な知識、測量機器や製図機器等の一定の機材が必要となることが通常です。そのため、土地家屋調査士の関与をお勧めすることが多くなりますので、あらかじめご了承ください。



【お問い合わせ】福島地方法務局 不動産登記部門 ☎ 024-534-2045

相続登記の申請義務化

特設ページ

〔連載〕昭和村の歴史と文化

（第24回）

菅家 博昭（大岐）

昭和10年の政府の苧麻奨励

富山県の近代化における
カムシ繊維の扱いについてこれまで数回紹介してきた。このたび、本村役場からむし振興係の根本氏より同時期の日本政府の苧麻（からむし）奨励策の資料を数点紹介され読んだ。

富国のための機械化を前提としてそれに向く繊維の開発や奨励をしていることが理解できる。軍国化を勧めるなかでの必要不可欠な繊維素材が苧麻であった。

我が国、特に昭和村（江戸時代の野尻組）の手による繊維とりだし（製織）ということとは全くことなるものである。しかし大きな政策が実施されていたことは知っておいてよい。

『昭和10年3月 農事改良資料第101 苧麻』（農林省農務局）

緒言に、「各種軍用被服、天幕、帆布、飛行機翼布、雑囊地、紐帯、素綱等各種麻製軍需品の需要は極めて多額に上り之が原料は主として亜麻または大麻を原料としたのであるが、亜麻は近年栽培地減少し加之価格の変動著しく大麻亦価格布廉にして共に適当なる軍需材料と云ふ事が出来ない」

「近年軍部に於て研究の結果之等はある程度苧麻を持つて代用し得ることを確め既に一部は苧麻を原料としたる製品が使用せられて居る。将来益々増加すべき軍需材料として苧麻の国内生産をはかり原料の自給を確立するは最必要なることからである」

5頁「明治維新後廃藩置県となり、服制の変遷と安価な綿布の生産増加とにより逐年衰頽に傾き、明治40年

には全国を通じ千八百予町歩、大正3年には僅かに四百四十五町歩に減少してきたのであるが、一方我が国近代工業たる製麻業は近年長足の進歩発展をなし、之が原料たる苧麻の消費高は逐年増加し、昭和8年度に於ける苧麻消費高は実に四千万斤を突破しその金額は実に一千万円を超へ、対外貿易上看過する事のできない重要品となつてゐるのである」

かった苧麻栽培業が極めて有利に行はる事が示されたので、農林省は種苗の配布及び剥皮機購入補助等を行ひ、極力本事業の助成に努むる事となり、昭和4年度から之に要する経費予算が計上され、さらに昭和9年度より経費を増額し適地にその栽培を奨励し苧麻繊維の国内自給を図り以て輸入防辺の完成を期することとなつたのである」（6頁）

「政府は国内に於ける苧麻栽培の再興を企図し、農商務省は大正元年以降三ヶ年間 宮崎県農会に対し補助金を付して、苧麻の栽培並びに繊維製造に関する試験研究を行はしめ、さらに大正6年度からは栃木県農事試験場に対し多額の補助金を交付して徹底的に之が研究を行はしめた結果、大正12年に至り優良品種の選択と之が機械剥皮法とに成功し従来我が国は勿論諸外国でも苦心を重ねて成就しな

・帝国製麻（株）（東京日本橋室町）の栃木県鹿沼製品工場
・東京麻糸紡績（株）（日本橋本町）の静岡県沼津工場
・東洋麻糸紡績（株）（東京丸ノ内）の広島県三原工場
・第一ラミー紡績（株）（富山市清水町）の清水工場
・日華紡織（株）（中国上海）

の台湾台北市外大安の同社工場



※図は本書より引用

アレクサンドラ 先生の小噺 #13

Alexandra Short Story

skiing
(スキー)



外国語指導助手 アレクサンドラ先生

(原文)

Dear Showa Village residents, I hope you're having a good winter so far! I really enjoy this time of the year. One of my favorite things to do is to be warm inside my house while drinking a cup of hot cocoa with marshmallows while it is snowing outside. This time of the year one of Canadians favorite thing to do is to go skiing! I want to tell you about my first time skiing as it is a very funny story. I was born in Colombia in a city with warm weather and no snow. I moved to Canada when I was very young but even then, as my parents didn't ski, I didn't went skiing until I was 20 years old. My first time skiing I was with a friend, and it was his first time too. So, we didn't have any ski lessons and decided to just try on our own by watching and imitating others. So, we went to the kid's slopes and after falling endless times and watching some YouTube videos we felt more confident and decided to give it a try on the real slopes. Once at the top my friend looked downwards and decide not to do it. I, on the other hand wanted to give it a try and started skiing. I felt very confident doing the pizza pose. However, I didn't know the slope I've chosen was an expert's slope, so it was very steep and at some point I was going so fast that I completely lost control of the skis. I ran into the barrier on the side and went into the woods then fell next to a pine tree. The branches of the tree slowed me down and there were branches coming out of my head which I found comical. My skis were completely gone and I had snow inside my clothes. I started laughing at myself and got back to the slope and finished it! Then had a great cup of hot cocoa at a shack near the mountain! So, it was a happy ending. Until next time!



(日本語訳)

昭和村の住民の皆さん、良い冬をお過ごしでしょうか！私はこの時期をとっても楽しんでます。私の好きなことの1つは、外で雪が降っている時に、家の中でマシュマロ入りのホットココアを飲みながら暖まることです。

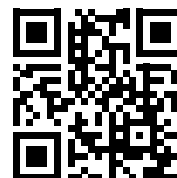
この時期、カナダ人が大好きなことの1つはスキーに行くことです！とても面白い話なので、私が初めてスキーをした時のことを話したいと思います。

私はコロンビアの温暖な気候で雪のない街で生まれました。幼い頃にカナダに引っ越しましたが、両親がスキーをしなかったため、20歳になるまでスキーはしませんでした。初めてスキーをしたのは同じくスキーをするのが初めての友達と一緒にの時でした。そこで、スキーのレッスンも受けず、自分たちで見よう見まねでやってみることにしました。私たちは子供用のゲレンデに行き何度も転びましたが、何本かYouTubeのビデオを見て、自信がついたので、本物のゲレンデで滑ってみることにしました。

友人は頂上から下を見下ろし、滑らないことを決めましたが、私はやってみたくて滑り始めました。ピザのポーズ（ボーゲン）にはとても自信がありましたが、私が選んだゲレンデが上級者向けのゲレンデだと知らず、かなり急だったのである時点でスピードを出しすぎてスキーのコントロールを完全に失い、松の木の横で転倒しました。木の枝でスピードが落ち、頭から枝が出ているのが可笑しかったです。スキー板は完全になくなり、服の中にも雪が積もっていました。私は自分自身に笑い始め、ゲレンデに戻って滑り終わりました！それから、山の近くの小屋でホットココアを飲んだ！というわけでハッピーエンドでした。

それではまた次回まで！

アレクサンドラ先生が記事の内容を英語で話しています。下記のQRコードからご覧ください。





#19 ミリ波センサーを利用した転倒検知を検証

村では、令和4年度から生活圏の屋外でのインターネット通信を無料で利用できる「公共インフラ Wi-Fi」の整備を進めてきました。その普及にあたって、Wi-Fi について基礎から利活用も含めて隔月での連載を行っています。

【お問い合わせ】総務課 企画創生係 0241-42-7717

前回掲載記事をお読みになられた読者の方から、村で暮らす親御さんのことを見守りたいとご相談を頂きました。

常時の見守りカメラは親御さんも抵抗があるかもとのお話でしたので、転倒検知を行えるミリ波センサーや温湿度センサー、ドア開閉センサーなどを組み合わせた形で異常を検知した場合には、カメラで映像を確認するような形を提案させて頂き、12月中旬より検証を開始しました。（※公共インフラ Wi-Fi の活用事例を創出するための、実証事業として実施しています）

今回の見守りでは、センサー類は専門のサービス（業務用）ではなく、市販されている民生品を用いています。過去に同様の実証を実施した経過はありますが、そこから数年で技術も進歩し、民生品レベルでも転倒検知が実現できるようになりました。

遠方に暮らすご家族は、スマートフォンに専用のアプリをインストールすることで、昭和村お住いの親御さんの暮らしぶりがわかるようになります。今回は、多めにセンサーを

設置して様々な検知の可能性を検討することとしていますが、一定の成果があがれば、必要最低限のセンサーで見守りを実現することが可能となるかもしれません。

年度末を一旦の区切りとして検証を行いますので、その成果は改めてご紹介させていただきます。



専用アプリの画面（センサーの状況をスマートフォンから確認できる）

（番外編） 停電のお話

2024 年は、いつもに比べて停電が多い 1 年となりました。公共インフラ Wi-Fi は停電時も UPS（無停電電源装置）を搭載しているので一定時間（搭載している設備の状況により変動）は稼働が可能です。

停電時に、役場へご連絡を頂くことがございますが、役場も東北電力から情報を得て皆様にお伝えしている状況ですので、その点ご理解ください。東北電力では、停電情報や復旧情報などを通知するアプリを配信していますので、ぜひ、そちらの活用もご検討ください。



◀ 東北電力ネットワーク停電情報アプリの通知画面

◀ アプリのダウンロードは QR コードまたは、「東北電力 停電情報通知アプリ」で検索

✳️ 警察署からのお知らせ

それ、本当に警察官ですか？

11月末現在、福島県内において、26件 2億8,590万円のオレオレ詐欺被害が発生しています。

特に最近、警察官や検察庁を名乗り「あなたが詐欺の犯人として浮上している」などと言って電話からSNS（LINE等）に誘導し、写真やビデオ通話で警察手帳や様々な書類を見せることで信用させ、最終的には「身の潔白を証明するため」や「あなたの口座のお金を守るため」などの理由で金銭を要求され被害に遭うケースが増えています。

警察官や検察庁がSNSやビデオ通話で連絡を取ることは絶対にありません。

もし、福島県警や他府県の警察を名乗る者から金銭に関する電話があった場合には相手の所属警察署や担当する係、氏名を確認し、警察署に連絡してください。



昭和村内街頭犯罪等発生状況

（令和6年11月末現在）

区分	管内	昭和村
強盗		
空き巣		
忍び込み	1	
事務所荒らし		
出店荒らし	6	
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	10	
自販機ねらい		
車上ねらい	1	
ひったくり		
部品ねらい	3	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	21	0
その他刑法犯等	67	0
全刑法犯	88	0

外出する際はしっかり戸締まりをしましょう。また、不審者や不審車両を見かけたらすぐに通報してください。

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和6年1月1日からの累計数になっています。



消防署からのお知らせ

育てよう 歴史を守る 防火の心 毎年1月26日は文化財防火デー

文化財防火デーは、昭和24年1月26日奈良県にある法隆寺金堂が火災になり、国宝十二面壁画の大半を焼損したことがきっかけで、昭和30年1月26日に定められました。

日本の文化財は木や紙など可燃物で作られているものが多く、一度火災になると大きな被害を受ける可能性が高くなります。1月26日を中心に文化財を火災や地震などから守るための訓練を実施し、将来に継承すべき貴重な財産である文化財の火災予防に努めましょう。



火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

＋ 1・2月の休日当番医 ＋

- 1月12日(日) あかぎ内科消化器科医院
☎ 0242-83-0303 (会津坂下町)
- 13日(月・祝) 寿松堂渡辺医院
☎ 0242-83-3125 (会津坂下町)
- 19日(日) 吉川医院
☎ 0242-56-3358 (会津美里町)
- 26日(日) 県立宮下病院
☎ 0241-52-2321 (三島町)
- 2月2日(日) 平野医院
☎ 0242-83-2243 (会津坂下町)

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和6年11月1日～11月30日受付

● お誕生おめでとうございます

今月の届け出はありません

● ご結婚おめでとうございます

今月の届け出はありません

● おくやみ申し上げます

渡辺 稔 雄 さん 70歳 下中津川
金子 孝 治 さん 93歳 大 芦

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和6年11月1日現在※住民基本台帳人口

人 口	1,088 人	(- 5)	出 生	0 人
男	532 人	(- 4)	死 亡	5 人
女	556 人	(- 1)	転 入	2 人
世 帯 数	611 戸	(- 1)	転 出	2 人

交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。

0000 日目
(12/25時点)

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

* つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30
(会場の都合によりお部屋の変更または休止になる場合がありますのでご了承ください)

健康ミニ情報

＜肥満・内臓脂肪型肥満予防について＞

ただ単に太っている(過体重)だけではなく、内臓の周りに脂肪が蓄積される内臓脂肪型肥満になると、蓄積した内臓脂肪から分泌される物質が「血圧を上昇させる」「血管で炎症を起こしやすくする」「血栓を作りやすくする」等の悪影響を及ぼし、血管が傷つきもろく破れやすい状態になる「動脈硬化」の進行を速め、脳梗塞、心筋梗塞などの命に関わる病気を引き起こす可能性があるため、早期からの対策(予防)が重要です。

【予防のポイント】

- ①自分の適性体重を知る、維持する(適切なエネルギー量(カロリー)、食事の量を知る)
- ②1日3食の規則正しい食事を基本に、欠食や間食、ドカ食いはせず、夜遅くに食べない
- ③ゆっくり良く噛んで、腹八分目にする(早食いをしない、食べ過ぎない)
- ④油(脂肪)、塩分の摂り過ぎに注意
- ⑤糖分の多い食品(お菓子やジュース)を控える
- ⑥食物繊維を意識して、野菜は毎食たっぷり(食事は野菜から食べる)
- ⑦毎日こまめに体を動かす、座っている時間を少なくする(1日の歩数を増やすことを心がける)
- ⑧今より10分多く体を動かす、適度な運動を続ける(毎日何かしら体を動かす習慣をつけ、1回30分以上の軽く汗をかく程度の運動を週2回以上実施が目標)

◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 村県民税 4期
- ◎ 後期高齢者医療保険料 6期
- ◎ 上下水道使用料 4期

〔納期限：令和7年1月31日〕

地域のしあわせづくり活動紹介「冬の風物詩～打ち豆づくり～」

この冬もすみれ荘内で、よつばの会（※）による“打ち豆づくり”が始まりました。

トントンと豆を打つ音に誘われて、診療所やデイサービスに来られた方々が「今年も始まったね。」とやって来て、作業の様子を眺めていました。

その中には「私もやってみたい!」という人がいて、よつばの会のメンバーが「にわか先生」になって、コツなどを教えて共同作業をしていました。

よつばの会の打ち豆づくりは、単なる作業を越えて、人々との交流の機会になりつつあります。

※よつばの会では、さまざまな障がいをお持ちの方の日常活動を応援するため、畑仕事や製品加工、調理実習などをおこなっています。

（生活支援コーディネーター：和泉・小林）



みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数が、600人を超えました！たくさんのご登録ありがとうございます！

昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで
「昭和村」を
友だち追加



ID: @showavill

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。

LINEで

昭和村からの お知らせ

を受け取ろう!!

はる

寒中お見舞い申し上げます。今回は、しっかりと雪のある年末年始となりました。除雪作業で忙しかった皆さま、お疲れさまです。いつもありがとうございます。雪って、柔らかかったり、固かったり、しっかりしていると思えば、急に崩れたり、溶けたり、固まったり、と不思議なものです。土の上を歩くのに比べ、普段は使わない筋肉を動かすので、慣れるまでは筋トレのようです。くれぐれも、滑って転ぶのだけは気を付けてください。一瞬で、骨にヒビが入ります・・・

今年は新雪のモフモフと、冬毛モフモフの小動物に会いに（低山の）雪山散策に出かけようと思います。皆さんも山に入る際には、行き先を家族に伝え、装備を整え、地図アプリ等で現在地の把握をするなど、遭難時に備えて準備を整えましょう。（と）

昭和村民憲章

- 一、伝えましょう
はた音の響き
- 一、守りましょう
手技の智恵
- 一、創りましょう
おいしい水
- 一、育てましょう
豊かな大地
- 一、助け合おう
健やかな心と体
- 一、広げましょう
長寿の里
- 一、明るい笑顔
みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp